


『このまちで良かった』みんな輝く 未来共創のまち とだ

埼玉県戸田市（2022年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標	<p>本市は、埼玉県の南東部に位置し、面積約18 km²と比較的コンパクトなまちとなっている。市内には、1964年東京オリンピックのボート競技会場や荒川の自然を生かした広大な公園「彩湖・道満グリーンパーク」があり、水や緑を身近に感じることができる環境となっている。また、東京に近接して交通網が発達していることから、市内には印刷関連産業や食品産業を中心とした製造業や倉庫など物流加工業を含む多くの産業が集積している。</p> <p>一方で、「定住促進と地域コミュニティの活性化」「ゼロカーボンシティの実現」「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」「公共交通サービスの利便性向上」などの課題がある。このことも踏まえ、『このまちで良かった』 みんな輝く 未来共創のまちの実現を目指す。</p>	2. 関連するゴール	
3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	経済面では、①地域に根差した産業の振興による「まちの活力」の創出、②市内外の誰もが楽しめる、地域資源を活用した観光振興の推進、社会面では、③市民活動の活性化とパートナーシップによるまちづくりの推進、④子どもから高齢者まで、市民の健康づくり支援の充実、環境面では、⑤カーボンニュートラルの実現に向けた環境対策の推進を実施していく。		
4. 自治体SDGs推進等に向けた取組 ①地域に根差した産業の振興による「まちの活力」の創出【経済】 ・商工会等と連携し、ICTを活用した経営課題解決に取り組む企業を伴走支援することで、市内企業のDX化を推進し経営基盤の強化を図る等 ②市内外の誰もが楽しめる地域資源を活用した観光振興の推進【経済】 ・荒川や彩湖・道満グリーンパーク、戸田ボートコース、戸田橋花火大会等の地域資源を生かし、「訪れたいまち」として魅力を高め、市外からの来訪者を呼び込む戦略的な観光振興を展開する等 ③市民活動の活性化とパートナーシップによるまちづくりの推進【社会】 ・地域課題や行政が抱える課題を「戸田市SDGs共創基金」等を活用して解決を目指し、市民活動団体等と共に協働のまちづくりを推進する等 ④子どもから高齢者まで、市民の健康づくり支援の充実【社会】 ・健康に無関心な人や若い世代にアプローチするため、「コバトンALKOOマイルージ事業」等を活用し、ICTを活用した健康づくりを推進する等 ⑤カーボンニュートラルの実現に向けた環境対策の推進【環境】 ・太陽光等の再生可能エネルギーの普及を促進するほか、環境配慮設備に係る補助や意識啓発に取り組み、地球温暖化対策を推進する等	6. 取組成果 ①地域に根差した産業の振興による「まちの活力」の創出【経済】 →2023年度商工会の事業所数2,777件(前年度+12件) ②市内外の誰もが楽しめる地域資源を活用した観光振興の推進【経済】 →2023年度観光入込者数1,382,871人(前年度+543,718人) ③市民活動の活性化とパートナーシップによるまちづくりの推進【社会】 →2023年度公民連携ファームを経由した連携事業数25件(前年度+7件) ④子どもから高齢者まで、市民の健康づくり支援の充実【社会】 →2023年度コバトンALKOOマイルージ事業参加数9,538件(前年度+569件) ⑤カーボンニュートラルの実現に向けた環境対策の推進【環境】 →2023年度環境配慮型システム等設置補助件数229件(前年度+79件)		
5. 取組推進の工夫			
広報等による周知活動に加え、市民がSDGsを身近に感じ、楽しみながら理解するため、SDGs謎解きイベントを実施した。	7. 今後の展開策 市独自の宣言制度である「とだSDGsパートナー制度」について、包括連携事業者との公民連携事業等を活用することにより、更なる推進を目的とした周知啓発に加え、より効果的な取組が可能となるよう制度の検討を進めていく。		
8. 他地域への展開状況 （普及効果）	本市が抱えている課題は、大都市に隣接する多くの自治体でも抱えているものと思われる。本提案は、持続可能なまちづくりに資する共創の取組であり、類似自治体の応用が可能となっている。また2022年度に開始した市独自の宣言制度であるとだSDGsパートナー制度については、県内他市町村でも同様にSDGs登録・認証制度が広がりを見せるなど、普及効果の一端を担っている。		